

保護者・幼児期支援者向け人材育成プロジェクト
ペアレントプログラム(ペアフロ)プロジェクトチーム

取組期間:令和5年7月～6年3月

報告書記載者：札幌市子ども発達支援総合センター 米島広明

代表：札幌市子ども発達支援総合センター 米島広明

令和5年度の 重点取組	ペアレントプログラムの実施機関の拡大を目指すために、その導入版（全2回Ver）を作成する。
活動概要	● R3、4年度、支援者を対象に実施したペアレントプログラムの普及啓発研修（動画配信型）の参加者から全6回連続開催の難しさを訴える意見が多く寄せられた。そのため、R5年度はペアレントプログラムの導入版として全2回のプログラムを作成し、実施することを目標とした。 ● 導入版となる全2回Verは完成したものの、当初その実施を見込んでいた事業所で開催できなくなり、今年度は作成までとなった。
抽出された課題	● 実施にあたっては、各機関の事情にあわせた開催方法の工夫が必要。それらは講師の派遣機関（ちくたく地域支援室）と開催機関で調整することであるため、プロジェクトで検討すべき事柄ではないのではないか。 ● 開催方法の工夫としてプロジェクトで導入版を作成したため、拡大に向けての活動は、派遣機関であるちくたく地域支援室が担うこととし、プロジェクトでの活動は終了で良いのではないか。
課題解決に向けた 次年度の取組予定	これまでペアレントプログラムの拡大に向けて、支援者向けの研修を実施。さらに実際のプログラムを体験できる導入版を作成。R4年度にはさっぽろにて新規開催し、その後も継続で開催されている。R5年度は、民間事業所（もなみ学園）において研修型を実施。徐々にではあるが、開催箇所や開催方法を広げている。 今後はちくたく地域支援室が関係機関にアプローチし、その拡大を目指していくこととし、今年度をもって当プロジェクトは終了としたい。プロジェクトとしては終了するが、実施状況については家族への支援部会で報告し、検討事項が生じた場合も、部会内で取り上げることとする。